



「サイエンスカフェ」は学生の皆さんが自分の専門外の研究分野について学び、参加者と交流する場となることを目的に毎年開催しています。理工学部の1、2年生にとっては矢上の雰囲気を感じ、先生の研究についてお話を聞けるチャンスです。

第10回のテーマは今、最もホットな話題のひとつである人工知能。そして番外編では「サイエンス」から少し離れて、真田家について第14代当主からご講演いただきます。

先生から直接、最先端の研究や話題のお話が伺える、またとない機会です！

管理工学科

山口高平先生の1冊

『ザ・セカンド・マシン・エイジ /
エリック・ブリニョルフソン、
アンドリュー・マカフィー著』

配架場所：本館2階

請求記号：504@B97@1



近年、人と人工知能(AI)の関係について、技術、雇用、社会、法律、政策、倫理など、様々な観点から議論されています。著者は、2011年にRace Against the Machine(2013年、邦訳「機械との競争」)を出版し、それ以降、この議論が活発になってきました。

本書は、これに続く書籍ですが、AIによる雇用の変化予測については、様々な経済データを用いて実証的に考察されており、考えさせられます。スイスでは、多くの職業がAIに代替されていく事を懸念し、2016年6月、最低限所得補償制度のひとつであるベーシックインカム導入の是非に関する国民投票が実施される予定です。人とAIの関係、皆で考える時代が到来したということでしょう。

Contents

6月はサイエンスカフェに行こう！ P.1

小展示：カタログでみる建築展 P.2

よく利用された電子ジャーナル P.2

6/15
水

第10回サイエンスカフェ

画像認識にみる人工知能の現在と未来

カメラ等の視覚センサから得られた画像の内容を、コンピュータに理解させる画像認識は、人工知能研究の中の重要な分野として近年、注目が高まっています。

本講演では、画像認識の基本的な概念から、過去から現在までをわかりやすく解説します。セキュリティ、スポーツ支援、自動運転等の産業応用への展開を含め、今後の可能性を皆さんと議論したいと思います。

【講師】青木 義満 先生(電子工学科)

【日時】2016年6月15日(水) 18:15-19:30

【会場】理工学メディアセンター創想館1階

【対象】塾生・教職員

【参加費】無料(お茶とお菓子付)

※事前申し込みは不要です。



6/27
月

サイエンスカフェ番外編

兄信之から見た真田幸村

大河ドラマ「真田丸」では関ヶ原の合戦ならびに大坂の陣を西軍について真田昌幸、幸村(信繁)親子の視点から描かれると思います。そこで武名を上げた幸村に対して家名を残した兄信之の立場から2つの合戦にいたる経緯、その後の真田家について説明します。



【講師】真田家14代当主

真田 幸俊 先生(電子工学科)

【日時】2016年6月27日(月) 18:15-19:30

【会場】理工学メディアセンター創想館1階

【対象】塾生・教職員

【参加費】無料

※事前申し込みは不要です。

どちらのイベントも、事前申し込みは不要です。皆さんのご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】理工学メディアセンター

HP: <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp>

TEL:(045)566-1477 Email: riko-info@lib.keio.ac.jp

メディアセンタークイズ

109,619

何の数字でしょう？

ヒント：総タイトル数です

答えは紙面のどこかに…

今月の1枚：

広島市環境局中工場



今月はスタッフがGWに見学した建築物をご紹介します。広島駅からバスに乗り、原爆ドームからさらに南へ行くと巨大な建築物に行きあたりです。2004年に竣工したゴミ焼却施設「広島市環境局中工場」です。「エコリウム」という見学通路に入ると、ガラス越しに銀色に輝く大きな配管がいくつもそびえ立って見えます。この中でゴミを燃やしているとはとても思えず、巨大な芸術作品を展示している美術館に迷い込んだようです。

このゴミ焼却施設の設計者は、本学工学部機械工学科卒業生で建築家の谷口吉生氏です。氏の父谷口吉郎氏は、慶應の幼稚舎本館を設計しています。吉生氏も、幼稚舎の新体育館、新館21を設計し、親子二代で幼稚舎の建築に携わっています。

広島に行く機会があったら足を延ばしてみたいかがでしょうか。

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

FAX: 045-566-1486

E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp

Web : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/scitechmckeio>

電子版は、ΣStarからご利用ください。

小展示

カタログでみる建築展

建築学を学ぶ者にとって、最も良い参考資料は建築物そのものです。好きな建築家の作品は体験してこそ、感得できるものがあります。しかし、グローバル化の現在、ひとりの建築家が世界中で活躍し、また世界中のその土地特有のローカルな表現が注目され、体験には限界があります。

建築はアートであり、美術館や博物館で扱われています。企画展も行われるようになってきました。建築に関する情報を得るひとつの方法として、今回の展示では美術館や博物館で行われた企画展のカタログをご紹介します。開催は済んでしまっているものになりますが、スケッチや模型、インスタレーションなどの展示物は今となってはカタログで見るほかないものばかりです。どうぞ、お楽しみください。

【期間】2016年6月6日(月) - 7月30日(土)

【場所】理工学メディアセンター創想館1階

慶應義塾大学理工学メディアセンター小展示

カタログでみる建築展



2016年6月6日(月)~7月30日(土)
理工学メディアセンター創想館1階

ランキング

2015年 よく利用された電子ジャーナル

慶應義塾大学で契約している電子ジャーナルは約74,000タイトルありますが、その中でも2015年に最もよく利用されたものをご紹介します。

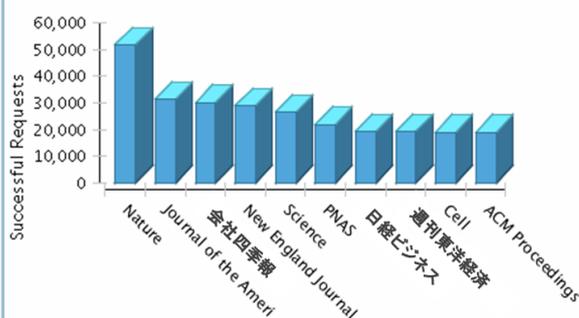
第1位 Nature (51,673回) 研究者の中で知らない人はいないであろう総合学術雑誌で、2010年より不動の1位をキープしています。学術論文以外にも、ニュースやコラムなどの特集記事も掲載されており、慶應では創刊号(1869年)よりオンラインで閲覧することができます。

第2位 Journal of the American Chemical Society (31,446回) 化学分野で世界的に著名なACS(アメリカ化学会)が刊行する雑誌の中で最も古く、全化学雑誌の中でもトップクラスの権威を誇っています。こちらも創刊号(1879年)よりオンラインで閲覧できます。

第3位 会社四季報 (30,154回) 企業の特徴や業績などを掲載した資料で、今年で創刊80周年を迎えます。企業研究だけでなく就職活動でも大活躍の電子ジャーナルです。

グラフを見ると、その他にもScience、PNAS、Cell、ACM Proceedingsなどの自然科学分野の電子ジャーナルが多く上位にランクインしています。電子ジャーナルは理工学部/研究科の研究活動には欠かせない存在となっていることがよくわかります。

Most Frequently Used Journals



理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください(理工学メディアセンターWebサイトのバナーからΣStarに移動できます)。



リコメ☆ニュース購読受付中!

新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをメールでお届けします。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWebサイトの「申し込む」メニューよりお申し込み下さい。

(対象:慶應義塾大学在籍者)



メディアセンタークイズ

慶應の電子ジャーナルリストに収録された総タイトル数です(2016/3/9現在)。利用できるタイトルはキャンパスによって異なります。利用上の注意を守り、電子ジャーナルを有効にご活用ください。